

| | | |
|-----------------------------------|------|-----------------|
| 活動名 | 団体名 | おはなしの会「おひさまにここ」 |
| ～子どもと読書の橋渡し～ 子どもおとなも本の世界を楽しもう！ | 地域 | 山口県宇部市 |
| | 代表者 | 代表 若林 やよい |
| | 支援金額 | 36万円 |

活動概要

2005年から小学校で朝 15 分のおはなし会を始めて 10 年目となりました。これまで「子どもと本を楽しむ」ことをモットーに続けてきた読書ボランティア活動の更なる充実を目指します。二俣瀬小、厚東中等の宇部市北部地域を主な活動場所として、子どもと本の橋渡しをし、子どもたちの心の成長を手助けしたいと考えます。活動を通じ、子どもを育てる親、教師、地域のおとな達も楽しみ、癒され、前へ進むことができる時間を持ちます。

①朝のおはなし会 (9回)
 ②夜のおはなし会 (2回)
 ③6年のあゆみ展(絵本展)、
 「朝のおはなし会 6年のあゆみ」発行
 ④中学校 読書会
 ⑤めざせ！どくしょ甲子園
 ⑥本田哲也さん 講演会&原画展
 (二俣瀬小学校、ひびきの森 2か所)
 ⑦中学校 選書会
 ⑧演じよう！出雲神話紙芝居
 (古事記勉強会 6回 & 紙芝居上演会)

◆実施時期
 2014年4月1日～2015年3月31日
 ①③⑥⑧ 宇部市立二俣瀬小学校 ④⑦ 宇部市立厚東中学校
 ②⑥⑧ ひびきの森 ⑤⑧ 二俣瀬ふれあいセンター

◆参加人数
 ①457名 ②7名 ③46名 ④31名 ⑤11名 ⑥103名 ⑦81名 ⑧69名
 参加総人員:805名



演じよう！出雲神話紙芝居



本田哲也さん講演会&原画展



厚東中読書会



厚東中選書会(こどもの広場)

◆実施に伴う効果

小学校での絵本原画展、中学校での選書会という大きな行事を開催することで、これまでの小学校での朝のおはなし会や、中学校での読書会等の「おひさまにこにこ」の地道な活動への学校側の理解、認知度が深まったと感じます。

具体的な例としては、来年度の朝のおはなし会は、担任の先生も参観可能な日程が組まれました。中学校での読書会の継続も決まりました。

また、今までにない大きな活動を通じ、読書ボランティアの関係もより深まりました。

学校や読書ボランティアの信頼関係により、今後の子ども達への読書活動推進の協力・連携が期待できると思います。

◆苦勞した点

・予算について

助成金をいただいての初めての活動でしたので、予算計画、実施に苦勞しました。

大きな行事では、当初予想より材料費や資料費がかかりました。また、お知らせのチラシをほとんど自作したため、インク代がかかりました。

・外部へのPR

学校で開催する行事は、学校の協力もあり、学校だより、PTA広報誌等で、地域へPRすることができました。また、中学校での選書会と小学校での原画展は地方新聞に取り上げてもらいました。

ひびきの森での絵本原画展は、宇部市教育委員会の後援をうけ、図書館を中心に公共施設へチラシ 500 枚を配りましたが、思ったほどチラシの効果は感じませんでした。

・参加者について

めざせ！どくしょ甲子園は、当初地域の高校生対象に計画しましたが、募集に対し参加希望がなく、中学生対象に変更しました。小学生、中学生、高校生、大人と、地域の様々な年代を対象にした読書活動を目指していたため、その点では残念でした。対象を限定した企画の難しさを感じました。

◆今後の課題・発展の方向性

この1年間、マツダ財団から支援を受けることで、小学校や中学校で、これまで出来なかった大きな読書活動を開催することができ、それにより、学校や読書ボランティアの信頼関係も深まったと感じます。今後の子ども達への読書活動推進の協力・連携を継続する機会を得たと思っています。

読書の子どもへの効果というのは、即効性を期待したり、端的に数値で表すのはそぐわないと考えます。地域のおとなたちが子ども達の成長に継続的に関わっていくことが大切ではないでしょうか。それをふまえ、これからもおはなしの会「おひさまにこにこ」は、おとなも楽しみながら、読書活動を通じ子ども達と関わっていきたいと考えています。

◆活動を終えての感想・意見等

助成金をいただいての活動が、発足 10 年目にして初めて。おまけにこれまで予算がないためやりたくても出来なかった行事を目いっぱい織り込んだ年間計画でしたので、慣れないのと盛りだくさんで大変忙しい 1 年間でした。

また、この 1 年は、活動を通して素晴らしい出会いがありました。講師をお願いした横山眞佐子氏(子どもの広場主宰)、本田哲也氏(画家・絵本作家)、長尾幸子氏(JSLA 読書会コーディネーター養成講師)のお三方はその道のプロで、お人柄も素晴らしく、子ども達に本物に出会えてもらうことができました。おとなの私達読書ボランティアもたくさん学ばせて頂きました。

学校の先生や読書ボランティアの協力も大変ありがたいものでした。

このような機会を作っていただいたマツダ財団殿に感謝申し上げます。ありがとうございました。